

## テーマ 文化財（美術史・工芸史）と考古学

課題やレポート等で文化財（美術史・工芸史）と考古学に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょう。文化財（美術史・工芸史）と考古学を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探るとき、こんなキーワードで探してみよう

旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、飛鳥・奈良時代、平安時代、鎌倉時代、室町時代、桃山時代、江戸時代 など

### 図書館にある資料の一例

**参考図書** ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F 和参考書資料の貸出はできませんので注意してください。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『角川日本史辞典 新版』朝尾直弘・宇野俊一・田中琢編， 角川書店 1996.11	8号館 3F 8和参考書	210.033/T2/2	10+0056729	歴史を学ぶ人のために大切な辞典です。
『日本考古学史辞典』斎藤 忠著，東京堂出版，1984.9	8号館 3F 8和参考書	210.02/S1/3	50+0000189	本学の考古学の礎を築かれた斎藤忠先生の執筆による考古学史辞典。学史上必要な人名、文献、用語等を解説。
『縄文時代研究事典』戸沢允則編，東京堂出版，1994.9	8号館 3F 8和参考書	210.3/TM-Z	10+0019135	縄文時代に関する用語・遺跡等の事典
『旧石器考古学辞典』旧石器文化談話会編，学生社，2001.3	B1A:和閉図書	210.02/KK-Z	10+0105273	旧石器時代に関する用語・遺跡等の辞典
『日本考古学用語小辞典』斎藤 忠著，学生社，2003.4	8号館 4F 8号館和図書	210.02/ST-N	10+0146970	本学考古学の礎を築かれた斎藤忠先生の著したコンパクトな考古学用語辞典
『考古学を知る事典』熊野正也・堀越正行著，東京堂出版，2003.7	8号館 4F 8号館和図書	210.02/KM-K	10+0150033	写真・図版を多用して時代別に概説している。
『現代考古学事典』安斎正人編，同成社，2004.5	8号館 3F 8和参考書	202.5/AM-G	10+0157750	考古学で用いられる専門用語を詳しく解説
『日本考古学用語辞典』斎藤 忠著，学生社，1992.5	8号館 3F 8和参考書	210.02/ST-N	10+0004676	本学考古学の礎を築かれた斎藤忠先生の著した考古学用語辞典
『新日本考古学小辞典』江坂輝弥・坂詰秀一・芹沢長介編， ニュー・サイエンス社，2005.5	8号館 3F 8和参考書	210.02/SN-K	10+0167126	日本考古学に関する必要項目を平易に解説した考古学小辞典
『考古学がよくわかる事典』國學院大學考古学研究室編， PHP 研究所 2010.11	8号館 4F 8号館和図書	210.025/KY-Z	10+0360597	発掘調査、年代測定法、遺物の見方などを分かりやすく解説
『日本考古学事典』田中 琢・佐原 真編，三省堂，2002.5	8号館 3F 8和参考書	210.02/NK-Z	10+0126206	旧石器時代から現代までの幅広い項目について、近年の研究成果をもとに解説した考古学事典
『先史学事典』ミッシェル・ブレジヨン著，山中一郎訳，真陽社，2015.5	8号館 3F 8和参考書	202.5/BM-S	10+0360598	フランスの先史学研究に関する事典

『考古資料大観』全12巻、小学館、2002～2005.4	1 F 和開図別	210.025/KS-T/13	10+0267428	弥生～歴史時代の考古資料を多数の図版で見ることができる。
『歴史考古学大辞典』小野正敏ほか編。吉川弘文館、2007.3.	8号館 3F 8和参考書	210.033/KR-J	10+0195354	古代～近代までの歴史考古学の辞典。
『日本美術史事典』平凡社、1987.5	8号館 3F 8和参考書	703.3/N2/1	50+0008228	日本の伝統文化を見直すための初めての本格的な美術史入門事典。図版約1700点、カラー一年表付。
『原色図典 日本美術史年表』集英社、1986.7	8号館 3F 8和参考書	703.2/G1/1	50+0002512	古代から現代まで、日本美術史上重要な作品、記事のうち、年紀のわかるものをすべて収録。
『日本美術図解事典』東京美術、2004.3	8号館 3F 8和参考書	702.1/NB-Z	10+0152178	日本の美術を鑑賞する上で、知っておくともう一步作品に踏みこめる見かたや知識を、分野ごとに図版を中心にポイントを押さえて解説。
『仏教美術事典』東京美術、2002.7	8号館 3F 8和参考書	187.03/BB-Z	10+0126412	アジア全域にわたる仏教美術の作品・遺構をはじめ、関連する尊名や寺院・主題・用語・研究など約4,500項目を解説した初の本格的な事典。
『仏具大事典』鎌倉新書、1982.9	8号館 3F 8和参考書	186.3/B1/1	50+0002429	仏壇仏具の基礎知識から仏教各宗派に関わる細部まで具体的にまとめた総覧。部分名称、形式、技法、時代性、遺宝などを詳細に解説。
『奈良六大寺大観』岩波書店 1972.8	B1A:和開図別	187.08/N2/1-1 他	50+0058221 他	世界的な文化遺産である奈良の寺々(法隆寺・東大寺・興福寺・西大寺・薬師寺・唐招提寺)の至宝の悉くを収めた奈良六大寺研究の決定版。
『大和古寺大観』岩波書店 1977.10	B1A:和開図別	187.08/Y1/1-1 他	50+0058206 他	『奈良六台大観』に次いで刊行された大和古寺の至宝の悉くを収めた大和古寺研究の決定版。

## 入門書 ☆基礎を学んでみよう

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『日本美術館』小学館、1997.11	B1A 和開図書	702.1/NB-I	10+0206620	豊富なカラー図版と分かりやすい解説でお勧めです。
『考古学入門』鈴木公雄著、東京大学出版会、1988.1	8号館 4F 8号館和図書	202.5/SK-K	50+0111721	出版はやや古いですが、今でも有用な入門書
『考古学の教室』菊池徹夫著、平凡社新書、2007.8	8号館 4F 8号館和図書	202.5/KT-K	10+0360592	遺跡はなぜ埋まっているのか、考古学の意義など素朴な疑問に丁寧に答える。
『旧石器時代ガイドブック』堤隆著、新泉社、2009.8	8号館 4F 8号館和図書	210.025/TT-K	10+0228537	写真や図を多用して、旧石器時代研究を分かりやすく解説している。
『はじめて学ぶ考古学』佐々木憲一・小杉康・菱田哲郎・朽木量・若狭徹著、有斐閣アルマ、2011.4	8号館 4F 8号館和図書	202.5/SK-H	10+0255215	世界の考古学を視野に入れた考古学の基礎、日本列島の人類史を解説。
『列島の考古学 旧石器時代』堤隆著、河出書房新社、2011.5	8号館 4F 8号館和図書	210.025/RK-O/1	10+0248336	写真や図を多用して、旧石器時代研究を分かりやすく解説している。

『はじめての考古学』菊池徹夫著，朝日学生新聞社，2013.11	8号館 4F 8号館和図書	202.5/KT-H	10+0360535	小学生向けだが、最新の成果を分かりやすく解説している。
『縄文時代の歴史』山田康弘著，講談社現代新書，2019.1	8号館 4F 8号館和図書	210.25/YY-Z	10+0359721	縄文時代の歴史を分かりやすく記述。新書版。
『若い読者のための考古学史』ブライアン・フェイガン著，広瀬恭子訳，すばる舎，2019.2	8号館 4F 8号館和図書	202.5/FB-W	10+0360593	欧米の考古学の歴史について分かりやすく解説
『ここが変わる！日本の考古学：先史・古代史研究の最前線』藤尾慎一郎・松木武彦編，吉川弘文館，2019.3	8号館 4F 8号館和図書	210.025/HS-K	10+0354905	旧石器時代から古代までの近年の考古学研究の最新の成果を分かりやすく解説。
『入門 縄文時代の考古学』谷口康浩著，同成社，2019.2	8号館 4F 8号館和図書	210.25/TY-N	10+0354864	縄文時代の研究を分かりやすく解説。
『よくわかる考古学』松蔭和人、門田誠一編著、2010.5	8号館 4F 8号館和図書	210.025/YW-K	10+0242841	考古学の視点から日本の原始～古代の歴史を叙述した入門書。
『古墳時代ガイドブック：ビジュアル版』、若狭徹、新泉社、2013.6	8号館 4F 8号館和図書	210.32/WT-K	10+0268326	古墳時代を豊富な図版で分かりやすく解説。
『日本美術全集』小学館 2015.12	3F:和開図別	708.0/NB-Z/1 他	10+0318365 他	小学館創立90周年記念として刊行され、縄文・古墳・弥生時代～日本美術の現在・未来まで全20巻で完結。
『日本美術全集』講談社 1994.4	B1A:和開図別	708.0/N2/1-1 他	10+0008840 他	1990年から1994年に講談社から刊行された日本美術史全集。
『世界美術大全集 東洋編』小学館 2000.9	3F:和開図別	708.0/SB-D/1-1 他	10+0093565 他	全17巻からなる東洋美術史に関する美術全集。
『原色日本の美術』小学館 1970.1	B1A:和開図別	702.1/GN-B/1 他	50+0122992 他	図版が初めてカラー（原色）で掲載された日本美術史全集。
『日本の国宝』朝日新聞社 1999.11	B1A:和開図書	709.2/NK-O/1 他	10+0084742 他	国宝を地域別、所蔵別に網羅し、関連の文化財、所蔵先や国宝に関連する地域や時代、文化や人物など、さまざまな話題を扱うコラムをまじえ、貴重なカラー写真をふんだんに用いて解説。
『日本美術史入門』河野元昭著，平凡社 2014.12	8号館 3F 8号館和開図書	702.1/NB-N	10+0296844	第一線の研究者たちによる、美術史の基本的な知識に最新情報を加えた解説。

**学術雑誌** ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

誌名・発行元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント
『日本の美術』（至文堂）	B1B 和開雑誌	057.0/N3	1-545<1966-2011>	500冊以上にわたる日本美術・考古学の分野別の基本図書です。
『季刊考古学』雄山閣	B1B 和開雑誌	052.0/K11	1-148<1982-2019>	毎号テーマを定めて複数の論文を掲載。最新の研究動向がわかる。
『考古学ジャーナル』 ニュー・サイエンス社	B1B 和開雑誌	052.0/K6	1-245, 247-250, 252-254, 256-728<1966-2019>	毎号テーマを定めて、複数の論文を掲載。最新の研究動向がわかる。毎月発行されている。
『旧石器研究』日本旧石器学会	歴史学科閲覧室 で一部閲覧可能			旧石器時代・文化に関する学術雑誌。

『考古学研究』 考古学研究会	B1B 和開雑誌	052.1/K19	6-65, 66(1)<1959-2019>	考古学の研究とともに文化財保護、社会との関わりなどについても掲載されている。
『日本考古学』 日本考古学協会	B1B 和開雑誌	052.1/N15	1-48<1994-2019>	日本最大の考古学の学会が発行する学術雑誌。
『第四紀研究』 日本第四紀学会	歴史学科閲覧室			考古学をはじめ、地質学、地理学、動物学、植物学、人類学、地球物理学など第四紀に関わる学問領域が共同運営する学会で発行している学術雑誌。各分野の研究状況がわかる。
『考古学と自然科学』 日本文化財科学会	国立国会図書館 のデータベース で閲覧可能			考古学・文化財に関わる自然科学的分析、保存処理の研究などが掲載されている。
『古代文化』 古代学協会	B1B 和開雑誌	052.0/K2	1-5;1958(1-10, 12);3-4, 5(1-2, 4-6), 6-18, 19(1-2, 4-6), 20-70, 71(1)<1957-1957;1958-1958;1959-2019>	考古学、古代史関係の論文、学界動向を掲載する研究誌（季刊）。
『美術史』 美術史学会	2 F 和開雑誌	057.0/B6	1-67, 68(1-2)<1950-2019>	美術史学会が年二回刊行している機関誌。日本・東洋美術史、西洋美術史に関する日本における最先端の研究成果を掲載している。
『MUSEUM 東京国立博物館研究誌』 東京国立博物館	B1B 和開雑誌	057.0/M1	70, 124-156, 158-678<1957-2019>	東京国立博物館が編集・発行している日本・東洋の美術史学、工芸史学、考古学ならびに関連する歴史学、博物館学、文化財の保存科学等に関する研究誌。
『佛教藝術』 佛教藝術學會 『仏教芸術』 仏教芸術学会	B1B 和開雑誌	051.8/B10	1-3, 5, 7-16, 18-51, 53-55, 57, 59, 61, 63, 65-73, 75-350<1979-2017>	仏教芸術に関する専門雑誌。『佛教藝術』（1949～2017）のあと、『仏教芸術』（2018～）が継承している。

データベース 奈良文化財研究所のデータベース  
考古学のおやつ

<https://www.nabunken.go.jp/research/database.html> 全国の遺跡と報告書の情報を検索できる。  
<http://www.ops.dti.ne.jp/~shr/> 考古学の展覧会・研究会情報を紹介するホームページ。